

大河原ロータリー

クラブ会報

例会日：毎週木曜日 12時30分
 例会場：和洋亭 ぶざん
 柴田郡大河原町字新南25-18
 TEL 0224-51-1113

会長：村上 則夫
 副会長：樽見 正仁
 幹事：佐藤 能文
 副幹事：丸山 勝利
 広報・ICO
 委員長：津田 政行
 副委員長：岩間 範男
 委員：岡崎 隆・佐藤克美・高橋大志



2017~2018年度
 国際ロータリーのテーマ

ロータリー：
 変化をもたらす

ROTARY:
 MAKING A
 DIFFERENCE

2017-18年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー

国際ロータリー第2520地区

2017-2018年度ガバナー 藤崎三郎助

事務所：〒989-1224 大河原町金ヶ瀬字町17 TEL0224-51-1400 FAX0224-51-1188 info@rotary-ogawara.com

2017年9月7日(木) 第2429回例会

会長 あいさつ

会長 村上 則夫



皆さんこんにちは、本日、仙台ロータリークラブから大島様、笹氣様、大変お忙しい所ゲストスピーカのご依頼を快くご快諾頂き、先週事前の打ち合わせという事で先週と今週と二度にわたってお越し頂き誠に有難う御座います。本日はたっぷりと時間を取っておりますので、スピーチをお伺いしたいと思っておりますので後ほど宜しくお願い致します。

9月に入りまして、早いもので2か月が過ぎました、残す所あと10か月となっておりますが、あと10ヶ月しかないのかなあとと思っておりますと何か淋しい気がします、本当に今年は夏が無い中で秋雨前線の話になっておりますが、二三日前までは天気が良かったのですが、昨日からまた梅雨になったのかな

と言う天気でございます。

本日、9月初めの例会ですので誕生会員と結婚会員のご紹介を致します、先ず誕生会員9月8日津田政行会員です、9月12日紺野清幸会員です、9月14日櫻井淳一会員です、9月23日藤江裕佳里会員です、続きまして結婚会員でございますが、9月13日櫻井淳一会員です、9月16日庄司大会員です、9月27日が甘糟仁会員です、以上でございます。

今月は、基本的教育と識字率向上月間という事で、今日は大島スピーカーをお願いしたという事でございます。そしてもう一つロータリーの友月間でもございます、このロータリーの友の月間の方には、今日お越し頂いた笹氣様で2520地区の代表と致しまして、ロータリー友の制作に関わっておられるという事でございます。本日はお話をしたいことがまだまだ有りますが、大島様のスピーチのために時間を多く取りたいと思っております、それでロータリーの友にRI会長のメッセージにトロントの来年6月に行われる世界大会のご紹介も載っておりますので、是非会員の皆様におかれましては、ロータリーの友をご拝読頂ければと思います。これで私の挨拶と致します。



幹事報告

幹事 佐藤 能文

本日もご出席有難う御座いました。

そして大島様、笹氣様ようこそお出でいただきました。

有難う御座います。

それでは幹事報告をさせていただきます。

先週お渡ししました、活動計画書の幹事のところが誤っておりましたの

で、訂正シールを作成しました、お渡ししますので訂正の程宜しくお願い致します。

白石北ロータリークラブの例会の開催の日程が届いております。

大河原町民ゴルフ大会へのご協賛御礼のご案内を頂いております。

オータムフェスティバル出店募集の案内が届いております。

義援金の御礼も届いております。回覧しますのでお目通しお願い致します。

各委員会より報告

米山BOXの報告 藤江裕佳里 委員長

武藤茂 会員 グエンさん 頑張り！

八島幸夫 会員 少しずつ積立します。

小田部晃二郎 会員 少しずつ積立します。

国際奉仕委員会からのお願い 本木拓也 委員長

来年6月のR I国際大会(23日～27日)カナダ・トロントの件ですが、参加登録の手続きを行っております、皆様のIDでマイロータリーよりクレジットカードで入場券を予約する事が出来ます、皆様参加される方がおりましたら今のうちに手続きだけでも行っておくようにした方が良いと思いますので皆さん宜しくお願い致します。人数をある程度決めておかないと、旅行会社とかの調整が中々難しくなってきますので、なるべく早い段階で決めて、トロントを目指して進めたいと思いますので宜しくお願い致します。

スマイルBOXの報告 森 徹 副委員長

櫻井俊寛 会員 仙台RCの大島様、本日はスピーチありがとうございます。

先日8月31日誕生ケーキ頂きました、家族が美味しそうに食べました。

八島幸夫 会員 大島達治様を歓迎致します。

佐藤能文 幹事 技術士、大島達治様、本日スピーチ宜しくお願いします。

笹氣様もお出でいただき感謝いたします。

村上則夫 会長 本日は、仙台RCから大島様、笹氣様ようこそお出でいただきました、

スピーチ宜しくお願いします。

櫻井淳一 会員 仙台RC大島達治様、本日は大変ご苦労様です。

武藤 茂 会員 仙台ロータリークラブ、笹氣様、大島様ようこそお出でいただきました、歓迎致します。

森 徹 会員 仙台RCの大島達治様、スピーチありがとうございます。

出席の報告 櫻井俊寛 委員長

本日9月7日の報告を致します、本日は25名の出席で、69.44%でございます。



只今ご紹介頂きました大島でございます、かねがね御クラブは勉強熱心で、実は9年前庄司様が健在だった頃に公式に1回お邪魔して居りますが、その時は10月の財団月間で正確には覚えておりませんが、地区の財団小委員長をしましたが、普通の小委員長だと寄付をしてくださいとか言うのですけれども、その様な事は一言も言わないで、どうせ寄付して下さるなら毎年平均に寄付してください、事業を行うには一定の予算がないと計画が立てられないから、個人で無くてもクラブでも地区でもいいから毎年平均にして継続的に納めてくださいと申し上げた記憶があります。

私も自分ではちゃんとやっています、米山と財団と1年おきに寄付しております、お陰でこんなバッジを送って来ましたので、普通はキラキラ

したバッジを付けていないのですが、今日は言った事をしっかりと実行しているという事で付けて来ました。

先程の話の様に、笹氣さんから依頼がありまして二つ返事でお受けしたのですが、会長が話した通り、私はしゃべりたくてしょうがないという事で有難い、それから今日は資料を皆様へ3枚程差し上げておりますが、問題意識とありますが、これはたまたま6月の週報に間に合わせる様に書いてくれと言われて書いたのですが、学生は試験が近づかないと勉強しない、これは大抵の方はそうだと思いますが、そのかわり試験が来ると一夜漬けでものにすると、こういう意味のものもくっついてございます。ですから今度識字率なんてぜんぜん考えた事が無いのです、日本で識字率向上なんてどうも考える予知が無いのです、ですがテーマを頂いたからこれは良い問題意識に繋がると思いまして、喜んでお引き受けして一夜漬けのところを今日皆さんにご披露したいという事で今日伺った訳でございます。

実践ロータリー放談と言うあまり聞きなれないタイトルですが、実は私こういう技術放談と言うものを2冊出しております、1冊目は70歳で会社終わってから、2冊目は80歳過ぎてから、これは何でもいいからしゃべれと言われて、案内の都合で、明日案内出すからタイトルを決めろと言う無茶な親父がいるんです、しょうがないから技術放談として出しておいてくれと、その後サブタイトル付ければ何とかなるからと言われてやったのが技術放談です。クラブライフで学ぶこともこれに入れてあります、その20年のクラブに学んだことの骨子が二つありまして、相手の人格執権を尊重しながら勝手に自己主張をできるというありがたいクラブ組織なんだ、我々のようになると勝手に自己主張しても怒る人はあまりいません、ずっとこらえてくれるでしょう、お互いにそういうのがあるという事は有難い事である、それから役員任期が1年とはどういうことかという、東北電力でかなり偉い人が仙台のロータリーに入って1年やそこらで辞めたのです、どうしてと聞いたら今の会長のやる事、成す事、気に入らないから辞めたと言うのですね、それでは貴方早まったと言いました、会長や役員の任期は1年だから1年我慢すれば次の人に代わるのだから、1年我慢していれば良かったと言ったことがあります、いずれにしても自己主張を交換すると必ず食い違いが出てくるから、それが怖いから政治と宗教の話をしてはいけない、それにしても食い違いが出る、それを調整する意味もあって役員の任期は1年、今の村上さんの任期はあと10ヶ月ありますが、そういうことで実践ロータリー放談というタイトルのものをつけてございます。少し置いていきますから御覧になって、面白そうだから読んでみたいという方が居ましたら、あと300部ございますからお届けします。

今日の問題意識、試験が来ないと勉強しないと云うのは人の常、私も初めての問題意識の対象にいたしました。なぜ問題意識の対象にしたのかと云うと、こんなことはロータリーが主体的にできる仕事ではない、国連のユネスコか何処かでしていることでしようけれども、それをロータリアンが本気になってやることにはならないわけでありまして。

奉仕の機会に関する項目、地域社会のニーズを特定するとともに、新しいクラブ奉仕プロジェクトを奨励し、すでに地域社会でロータリークラブが行っている活動から焦点を逸らさないため、R I 理事会は、奉仕の機会に関する項目として、9つの世界的な課題のリストを作成した。危機下の児童・障害者・健康管理・国際理解と親善・識字、計算能力向上・人口問題・貧困と飢餓救済・環境保全・都市部の関心事項。

世界の識字率の現状を調べてみました、識字率が問題になると言うのは、アジアではアフガニスタンが5割、しかも男性と女性ではかなり差があります、女性は学問がいらぬという事でアジアでは昔からそうなのでしょうね、それでアフリカが非常に悪いのは予想した通りですね、ニジェール共和国などはまだ2015年で男性27.3%、2000年では14%しかなかったという事で、この様に努力の跡が見えるので、本当はこの様なテーマでお話をしなくてはならないことですが、その様な中身の話をするようではないと思いました。

ポリオプラスでインドの話が何年か前にロータリーの友に載っていましたが、ワクチンを子どもに飲ませる様日本の何処かのロータリークラブが行って手伝ったと言う記事が出ておりましたが、インドは特に母親は文字を知らない人が多いし、第一戸籍が無いのだそうですね、ですから見える所では子供たちを捕まえて飲ませるのだそうですね、全部の子どもに飲ませると言う事は出来ないそうです、そして飲ませた子どもには分かる様に消えないインキでサインをして、この印が付いている子は飲まなくて良いと、付いてない子を探して飲ませると言う記事が出ておりました。識字率とはこういう問題なのだかと私はピンとききました。

ところが、どうもそういう事ではないという事がこれから話す内容であります、R I でしている事には積然としない事が多い、例えばポリオはロータリーが取り仕切って世界のポリオ撲滅をしている様に宣伝していますが、そうじゃないのですね、世界では4つの団体、当事者の国とWHO(世界保健機構)と他の4つの機関で、等分に努力をして、ですからロータリーは金を出すだけで四分の一だけ金を出すだけなのです、それをロータリーがポリオを撲滅したような宣伝をする事は非常に心外なのです、R I での取り組む姿勢を申し上げたいのですが、これは私だけの感覚だと思いますが、R I は命令調で上からの目線でテーマだけ出して、中身は各クラブに任せる、それはしょうがないのでしょうけれども、後で表彰だけしてやると言う事で、これはどうも私には積然としない所であります。

識字率の向上、RI理事会は、ロータリーが識字率の向上を強調事項とするに当たって、次の目的と目標を採択しました。

目的：

地域内のあらゆる人が、一般的に言って幸福に暮らすために読み書きの能力が重要であること、また、地域の識字水準が生活水準に直結することについて、すべてのロータリアンの理解を深める事、地域社会で、または他国の地域社会で、または他国の地域社会で識字率向上の必要性に取り組むプロジェクトに着手するよう全クラブに奨励すること。

目標：

- 1) 各個人また地域全般で、識字と生活水準との重要な関係についての理解を深めること、
- 2) 地域の生活のあらゆる面に、何の不足もなく人間らしく参加できるだけの読み書き能力をもつのは個人の権利である。つまり、生計を得て、社会の要望に応じて、日常生活で直面する問題を解決するための必要不可欠の手段としての識字率の向上に対する理解を深めること、
- 3) クラブがその識字率向上活動の支援に利用できる参考資料や補助金を、R I 内で、また他団体を通じて絶えず探し、開発すること、
- 4) ロータリー村落共同体、ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、世界社会奉仕、ロータリー・

ボランティア、人道的な国際プロジェクトのための同額補助金、保健、飢餓追放および人間性尊重補助金、世界社会奉仕カール・ミラー助成金などのロータリー・プログラムの範囲内でどのような識字率向上プロジェクトを効果的に実施できるかをロータリークラブに示すこと、

5) 初等教育、機能的識字率の向上、教師研修、職業教育を含む広範囲にわたるロータリー・プロジェクトが増えてきたので、それを広報する。

プロジェクト戦略での事例

① 成人の識字教育 「OPERATION UPGRADE」と協力した南アフリカでの活動

南アフリカのクワズール・ナタール州では成人の識字率が低く、蔓延する HIV/エイズ感染が深刻な問題となっています。この地域のクラブは、成人向けの識字教育を支援する非政府組織 (NGO) 「Operation Upgrade」と協力し、識字プロジェクトを始めました。このプロジェクトでは、ズールー語と英語、基礎的な算数に加え、銀行口座の開設方法、手紙の書き方、家計の管理、小規模ビジネスの立ち上げといった実用的なスキルを教えています。さらに、HIV・エイズやその他の保健問題、栄養、食糧、地域開発についても取り上げています。

② 学校に通っていない子ども グアテマラでの「WASH IN SCHOOLS」

学校での WASH (Water/水、Sanitation/公衆衛生、Hygiene/衛生習慣) プロジェクトは、きれいな飲料水と安全な衛生施設の提供、衛生教育 (手洗い推進など) を通じて子どもの疾病感染を予防し、元気に通学できるようにする事を目的としています。グアテマラでは、ロータリークラブがグローバル補助金を利用して9つの公立小学校を支援しました。子どもたちが衛生的な環境で学べるよう、水洗式トイレ、洗面所を設置したほか、水質の向上を図っています。

③ 教材の提供 グアテマラの識字プロジェクト

1998 年以来、グアテマラと北米の 400 以上のロータリークラブが協力団体 「Cooperative for Education」と手を組み、子どもたちに教科書を提供しています。近年はプログラムを拡大し、教科書に関する教員研修、コンピューター研修、小中学校での教授法に関する研修も行っています。こうした研修を通じて、教員は新しい教授法を学び、子どもたちに読み書きとテクノロジーの使い方を教えることが出来ます。コンピューター教育担当の教員は、メンテナンスの方法、カリキュラムの作成、最新の教授法について集中研修を受けます。

④ 教育効果を高める 小学校教員に外国語としての英語を教える

複数の言語が話される国では、教室で母語の異なる各生徒に対応するのは困難です。

南アフリカ、カナダ、米国のロータリークラブが、グローバル補助金で職業研修チームを南アフリカに派遣し、教員研修とカリキュラム開発を支援しました。研修カリキュラムは最終的に南アフリカ文部省による認定を受け、現在は国内全土に導入されています。